



平成 21 年 6 月期 第 1 四半期決算短信（非連結）

平成 20 年 11 月 14 日

上場会社名 株式会社かんな丸 上場取引所 JASDAQ
 コード番号 7585 URL <http://www.Kannamaru.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐藤 栄治
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部次長 (氏名) 菊田 聡 TEL (048) 881-9056 (代表)
 四半期報告書提出予定日 平成 20 年 11 月 14 日

(百万円未満切捨て)

1. 平成 21 年 6 月期第 1 四半期の業績 (平成 20 年 7 月 1 日 ~ 平成 20 年 9 月 30 日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21 年 6 月期第 1 四半期	1,572	-	87	-	91	-	59	-
20 年 6 月期第 1 四半期	1,569	0.8	77	35.0	78	34.3	40	38.9

	1 株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1 株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
21 年 6 月期第 1 四半期	13	86	13	86
20 年 6 月期第 1 四半期	9	48	9	47

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1 株当たり純資産	
	百万円	百万円	%	円	銭
21 年 6 月期第 1 四半期	4,203	3,677	87.5	852	42
20 年 6 月期	4,201	3,702	88.1	858	02

(参考) 自己資本 21 年 6 月期第 1 四半期 3,677 百万円 20 年 6 月期 3,702 百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1 株当たり配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20 年 6 月期	-	-	-	19 00	19 00
21 年 6 月期	-	-	-	-	16 00
21 年 6 月期 (予想)	-	-	-	16 00	-

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 : 有

3. 平成 21 年 6 月期の業績予想 (平成 20 年 7 月 1 日 ~ 平成 21 年 6 月 30 日)

(%表示は、通期は対前期、第 2 四半期累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1 株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第 2 四半期累計期間	3,332	1.6	316	31.6	306	27.1	183	41.4	42	44
通 期	6,450	0.8	577	41.7	553	37.2	316	111.8	73	25

4 . その他

- (1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
[(注) 詳細は、4 ページ【定性的情報・財務諸表等】4 . その他をご覧ください。]
- (2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更 (四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更) に記載されるもの)
会計基準等の改正に伴う変更 : 有
以外の変更 : 無
[(注) 詳細は、4 ページ【定性的情報・財務諸表等】4 . その他をご覧ください。]
- (3) 発行済株式数 (普通株式)
- | | | |
|--------------------|------------------|-------------|
| 期末発行済株式数 (自己株式を含む) | 21 年 6 月期第 1 四半期 | 4,351,308 株 |
| | 20 年 6 月期 | 4,351,308 株 |
| 期末自己株式数 | 21 年 6 月期第 1 四半期 | 36,939 株 |
| | 20 年 6 月期 | 36,379 株 |
| 期中平均株式数 | 21 年 6 月期第 1 四半期 | 4,314,412 株 |
| | 20 年 6 月期第 1 四半期 | 4,303,618 株 |

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・ 上記の予想は、当社が現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。
- ・ 当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第 12 号) 及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第 14 号) を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

定性的情報・財務諸表等

1. 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期会計期間における日本経済は、サブプライムローン問題に端を発した株式市場の急激な変化、原油の価格高騰に伴う諸物価の値上がり等により、個人消費については依然として低迷が続いております。

飲食業界におきましては、市場規模の縮小が続き、食材価格の高騰や外食回数の減少等相変わらず厳しい経営環境が続いております。

こうした状況の下、当社は、当第1四半期会計期間において「日本海庄や」2店を開店いたしました。

この結果、当第1四半期会計期間の店舗数は、大衆割烹「庄や」36店舗、「日本海庄や」32店舗、無国籍料理「KUSHI949KYU」1店、カラオケスタジオ「うたうんだ村」6店舗、旬菜・炭焼「炉辺」2店舗、気楽な安らぎ処「やるき茶屋」2店舗、コーヒー専門店「ドトールコーヒーショップ」1店舗の合計80店となっております。

当第1四半期会計期間も既存店の活性化を図り、地域一番店を目指す方針に基づき、人材の発掘・登用を積極的に行い、また「わざわざご来店いただいたお客様」に感謝するためのきめ細かい施策を継続して実施してまいりました。

以上により、当第1四半期会計期間の業績は売上高1,572百万円、売上総利益1,098百万円、販売費及び一般管理費については1,011百万円となり、営業利益は87百万円となりました。

経常利益につきましては91百万円となり、特別利益に庄や越谷駅前店の区画整理による閉店に伴う受取補償金42百万円を計上したことにより、税引前四半期純利益は135百万円、四半期純利益は59百万円となりました。

2. 財政状態に関する定性的情報

当第1四半期会計期間末における資産の状況は、現金預金を主とした流動資産の増加43百万円、減価償却費の計上による有形固定資産の減少及び貸付金の返済に伴う投資その他の資産の減少による固定資産の減少41百万円等により、総資産4,203百万円（対前事業年度末比2百万円増）となりました。

負債は、賞与引当金の増加15百万円等により、526百万円（対前事業年度末比26百万円増）となりました。

純資産は、四半期純利益の計上により59百万円増加し、前期末配当金の計上により81百万円減少し、3,677百万円（対前事業年度比24百万円減）となりました。

当第1四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末に比べ66百万円増加し、993百万円となりました。

当第1四半期会計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期会計期間において営業活動の結果得られた資金は181百万円となりました。

収入の主な内訳は、税引前四半期純利益135百万円、減価償却費77百万円、賞与引当金の増加15百万円であり、支出の主な内訳は、法人税等の支払額49百万円であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期会計期間において投資活動の結果使用した資金は27百万円となりました。

収入の主な内訳は、定期預金の払戻による収入33百万円であり、支出の主な内訳は、定期預金の預入による支出16百万円及び有形固定資産の取得による支出46百万円であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期会計期間において財務活動の結果使用した資金は87百万円となりました。

支出の主な内訳は、長期借入金の返済による支出16百万円及び配当金の支払額71百万円であります。

3. 業績予想に関する定性的情報

平成21年6月期の業績予想については、平成20年8月20日に公表した業績予想に変更はありません。

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(固定資産の減価償却の算定方法)

減価償却の方法として定率法を採用している資産については、事業年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定しております。

(法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法)

繰延税金資産の回収可能性の判断に関して、前事業年度末以降に経営環境等、または、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前事業年度において使用した将来の業績予測やタックスプランニングを利用しております。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

②通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、最終仕入原価法による原価法によっておりましたが、当第1四半期会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）が適用されたことに伴い、最終仕入原価法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）により算定しております。これによる損益への影響はありません。

5. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成20年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,022,724	977,167
売掛金	34,797	37,475
商品	128	91
原材料	35,609	37,265
その他	93,759	91,502
貸倒引当金	△43	△61
流動資産合計	1,186,976	1,143,441
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,708,526	1,732,459
その他（純額）	360,523	359,415
有形固定資産合計	2,069,049	2,091,874
無形固定資産	16,082	16,303
投資その他の資産		
敷金及び保証金	787,651	787,739
その他	256,986	275,637
貸倒引当金	△113,082	△113,392
投資その他の資産合計	931,556	949,984
固定資産合計	3,016,689	3,058,162
資産合計	4,203,665	4,201,603
負債の部		
流動負債		
買掛金	131,736	133,105
1年内返済予定の長期借入金	29,158	38,760
未払法人税等	56,520	63,205
賞与引当金	20,087	4,500
その他	277,111	241,666
流動負債合計	514,613	481,236
固定負債		
長期借入金	11,395	18,061
固定負債合計	11,395	18,061
負債合計	526,008	499,297

(単位：千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成20年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	275,100	275,100
資本剰余金	88,500	88,500
利益剰余金	3,345,677	3,367,883
自己株式	△33,332	△32,845
株主資本合計	3,675,944	3,698,638
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,712	3,667
評価・換算差額等合計	1,712	3,667
純資産合計	3,677,657	3,702,305
負債純資産合計	4,203,665	4,201,603

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期累計期間 (自 平成20年7月1日 至 平成20年9月30日)
売上高	1,572,190
売上原価	473,491
売上総利益	1,098,699
販売費及び一般管理費	1,011,038
営業利益	87,660
営業外収益	
受取利息	1,053
協賛金収入	2,082
その他	1,402
営業外収益合計	4,539
営業外費用	
支払利息	157
その他	217
営業外費用合計	375
経常利益	91,824
特別利益	
受取補償金	42,880
その他	849
特別利益合計	43,729
特別損失	
固定資産除却損	53
特別損失合計	53
税引前四半期純利益	135,500
法人税、住民税及び事業税	58,297
法人税等調整額	17,426
法人税等合計	75,724
四半期純利益	59,776

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当第1四半期累計期間 (自 平成20年7月1日 至 平成20年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純利益	135,500
減価償却費	77,932
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△328
賞与引当金の増減額 (△は減少)	15,587
受取利息及び受取配当金	△1,191
支払利息	157
有形固定資産除却損	53
売上債権の増減額 (△は増加)	2,678
たな卸資産の増減額 (△は増加)	1,618
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,368
その他	△645
小計	229,996
利息及び配当金の受取額	1,191
利息の支払額	△149
法人税等の支払額	△49,632
営業活動によるキャッシュ・フロー	181,405
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△16,902
定期預金の払戻による収入	33,600
有形固定資産の取得による支出	△46,323
敷金及び保証金の差入による支出	△2,220
敷金及び保証金の回収による収入	2,212
その他	2,323
投資活動によるキャッシュ・フロー	△27,309
財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入金の返済による支出	△16,268
自己株式の取得による支出	△487
配当金の支払額	△71,085
財務活動によるキャッシュ・フロー	△87,840
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	66,255
現金及び現金同等物の期首残高	927,452
現金及び現金同等物の四半期末残高	993,707

当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

（4）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（5）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期損益計算書

科目	前年同四半期 (平成20年6月期 第1四半期)
	金額(千円)
I 売上高	1,569,311
II 売上原価	479,945
売上総利益	1,089,365
III 販売費及び一般管理費	1,012,343
営業利益	77,022
IV 営業外収益	3,492
V 営業外費用	2,480
経常利益	78,035
税引前四半期純利益	78,035
法人税、住民税及び事業税	42,553
法人税等調整額	△5,339
四半期純利益	40,821

(2) (要約) 四半期キャッシュ・フロー計算書

	前年同四半期 (平成20年6月期 第1四半期)
区分	金額(千円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純利益	78,035
減価償却費	76,225
長期前払費用の償却額	1,696
保証金の償却額	271
賞与引当金の増減額	27,000
受取利息及び受取配当金	△963
支払利息	311
売上債権の増減額	14,296
たな卸資産の増減額	1,783
仕入債務の増減額	△18,597
未払消費税等の増減額	△2,530
その他	△24,505
小計	153,024
利息及び配当金の受取額	963
利息の支払額	△311
法人税等の支払額	△140,540
営業活動によるキャッシュ・フロー	13,136
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△16,814
定期預金の払戻による収入	30,013
有形固定資産の取得による支出	△55,612
貸付による支出	△1,910
貸付金の回収による収入	2,395
差入保証金の回収	1,212
その他	△768
投資活動によるキャッシュ・フロー	△41,483
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入金の返済による支出	△24,565
自己株式の取得及び売却	1,450
配当金の支払額	△77,622
財務活動によるキャッシュ・フロー	△100,736

	前年同四半期 (平成20年6月期 第1四半期)
区分	金額(千円)
IV 現金及び現金同等物の減少額	△129,084
V 現金及び現金同等物の期首残高	1,007,276
VI 現金及び現金同等物の四半期末残高	878,192